

豊明市教育委員会 会議録
「定例会 平成27年9月」

平成27年9月15日（火）午後2時30分豊明市教育委員会9月定例会は、豊明市役所東館3階教育委員会室に招集された。

1 応召委員は、次のとおりである。

委員 長	：	久留島 夕 紀	委員長職務代理者	：	青 山 佳 代
委員	：	兼 子 幸 夫	委 員	：	山 下 徳 治
教 育 長	：	市 野 光 信			

2 不応召委員は、次のとおりである。

な し

3 出席委員は、次のとおりである。

委員 長	：	久留島 夕 紀	委員長職務代理者	：	青 山 佳 代
委員	：	兼 子 幸 夫	委 員	：	山 下 徳 治
教 育 長	：	市 野 光 信			

4 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教 育 部 長	：	加 藤 賢 司	指 導 室 長	：	下 出 修 史
学 校 教 育 課 長	：	堀 井 浩 二	図 書 館 長	：	浅 田 利 一
学校教育課長補佐	：	濱 島 英 生			

5 欠席委員は次のとおりである

な し

6 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

事務局（担当係長）後 藤 明 紀、事務局（主査）若 井 雅 宏

本会事件は、次のとおりである。

議案

（1）小学校の統廃合等について

報告

（1）教育委員会の活動の点検及び評価の結果に関する報告書について

（2）教育委員会後援申請について

その他

（1）平成27年度運動会・体育大会について

（2）平成27年度豊明市教育委員会学校訪問について

（3）平成27年度豊明市の教育について

開会宣言 午後2時30分、9月定例教育委員会の開催を宣言。

会議録承認 8月定例会（8月21日分）の会議録について、承認する旨確認。

委員長 まず、8月22日に文化会館にて家庭教育推進市民大会がありました。開会の宣言後に、文字職人の杉浦誠司さんによる「これを知れば、夢をどうしても持ちたくなる」というテーマの講演会があり、最後には大きな紙に「みんなかわれる」というひらがな7文字を使って、漢字の「勇氣」という2文字を作るパフォーマンスが行われました。その後、アトラクションとして沓掛中学校の吹奏楽部の軽快な演奏があり、会場の雰囲気が一変しました。女子高の吹奏楽部を思わせるような見事な演奏でした。それから、少年の主張では、6人の発表者のうち、沓掛中学校に唯一男子生徒が1人いましたが、皆さん大変堂々としており、原稿もほとんど見ずに客席に向かって立派に話されていました。市長から表彰があった後、教育長から一人ひとりの好評があり、自分の名前が出る度に、教育長の方に目をやり、うなずきながらすごく照れくさそうに聞き入っている姿を見て、中学生の素の顔を垣間見ることができたような気がしました。次に、8月29日に県指定の天然記念物ナガバノイシモチソウの一般公開に私自身も久々に出かけてきました。現生のものを保つためにクローン化したものを取り除く苦労や人為的に行っている水分補給など生育環境を維持するために行っている地道な活動の賜物であることを改めて実感しました。説明をしてくださった浅井先生はパンフレットに書かれていないような聞きたいことをピンポイントに教えてくださるので、大変有意義な時間を過ごすことができ、浅井先生ご自身がとても貴重な人材であることを感じました。また、今朝の朝刊にもありましたが、オーストラリアのシェパトン市から中高生が9日間ホームステイをしているということで、私も以前受け入れをしましたので、懐かしい思い出を思い出しました。皆さんには滞在を楽しんでもらいたいと思います。私からは以上です。次に教育長報告をお願いします。

教育長 天気はかなり気になりますが、中学校の体育大会がいよいよ開催されます。生徒にはそれぞれ個人力や集団力を精一杯発揮してもらいたいと思います。委員長からのご報告と重複しますが、前回の定例教育委員会の翌日に家庭教育推進市民大会がありました。少年の主張として、市内中学生6人が発表してくれました。どの発表も自身の体験をもとに、自分自身と周囲を見つめ、そして考えて、将来に向かう姿勢を力強く語ってくれたのが印象的でした。ただ、昨年度同様、男子生徒が1人でしたので、来年度はぜひ男子生徒にももう少し頑張ってもらいたいと思いました。それから、本日の報告事項にもありますが、教育委員会の活動の点検及び評価について、例年どおり3人の評価委員からご評価いただきました。その評価を踏まえまして、各委員の考えや感想等を後ほどお聞かせください。また、前回の定例教育委員会で報告しました長島りょうがん先生と連絡を取る機会があり、来年1月16日に土曜授業を公開授業として、スーパーバイザーの学校訪問を行うとの話がありましたので、参観希望があれば後日教えてください。最後に、2学期は学校行事の他、学校訪問や教育委員の研修など活動が多くなりますので、引き続きよろしくをお願いします。私からは以上です。

委員長 ありがとうございます。ただいまの委員長報告、教育長報告について、ご意見ご質問等はございますか。

委員 私も家庭教育推進市民大会に参加させていただきましたが、文字職人の杉浦誠司さんのパフォーマンスのスピードに驚きました。それから、少年の主張では男子生徒の話の内容が、部活で怪我をして、普通に野球ができなくなっても部活を辞めずに、できることを続けるうちに怪我が治って、再び活躍する機会を与えられたという話でした。スポーツには怪我等は付き物ですが、気力を奮い立たせ、継続して復活したことから多くを学んだという話で、大変価値のある話だったと思います。他の皆さんも大変素晴らしいスピーチでした。

委員長 他にございますか。（なし）

議事の経過

委員長 それでは議事に入ります。議案（１）「小学校の統廃合等について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 （資料第１号に沿って説明を行う。）

委員長 ただいまのご説明について、ご意見ご質問等はございますか。

委員 今回の資料は、前回のご説明の中で出たことに対する回答ということですか。

学校教育課長 追加資料ということでご説明させていただきました。

委員 大宮小学校の平成３０年度における在校予定数の各町内会別の人数ということでしょうか。

学校教育課長 そうです。

委員 平成３０年度には１２学級の構成になるであろうということでしょうか。

学校教育課長 普通学級１２学級と特別支援学級２学級の計１４学級になるという推計です。

委員 このままの推計でいくと、教室が足り無くなるということでしたか。

学校教育課長 このままだと教室が足りない状況になってしまいます。

教育部長 余裕教室が全く無い状態になってしまうということです。多目的教室や学習室が無くなってしまいますので、少人数学級や取り出し授業を行うことが難しくなります。

委員 余裕教室は必要なのでしょうか。

委員長 ちょっとした教育相談をしたいと思うと、余裕教室は必要だと思います。

教育長 現在普通教室が１１教室あり、多目的教室、児童会室、学習室を普通教室にすると１４教室整備することができますので、それが上限だと考えています。

委員 平成３０年度が上限ということですが、それ以降の児童数の推移については把握していますか。

教育長 平成３２年度までは同様に１４学級で推移します。

委員 余裕教室が無いという状況は、子どもたちにとっても、教職員にとっても環境が良くないということであれば、改善しなければなりません。現状では新たに校舎を建てることを考えなければ、学区の再編しかないと思いますが、具体的に教育委員会事務局と市長部局との中ではどのような話になっていますか。

教育部長 市長部局や市議会との議論の中で、唐竹小学校と双峰小学校の統廃合の話が先行していますが、その裏で大宮小学校の児童が増えていて、このままいくと余裕教室が無くなってしまいうという現状を皆さんにまず認識して欲しいと思います。また、市の方針としては、アセットマネジメントの考えの中で唐竹小学校と双峰小学校の統廃合を進めたいわけですが、あくまでも教育

委員会の意向は尊重したいというのが市長の考えであります。前回の総合教育会議の中でも、委員の皆さんにいろいろと議論していただき、教育委員会でも検討して欲しいとのことで、その答えを受けて、市としても進めていきたいとのことです。市長部局としてはアセットマネジメントを進めたいという思いがありますので、40年先には30%、学校規模で3~4校を減らしたいという超長期的な考えであり、短期的には唐竹小学校と双峰小学校を統廃合したい意向ですが、そういったことを踏まえて教育委員会の中で議論していきたいと考えています。

委員 教育委員会が主導ということで、これから教育委員会の中で大きな問題を議論していかなければなりません。現状では唐竹小学校と双峰小学校と大宮小学校の学区を再編して組み直すという方法が考えられますが、現実的に国道1号線を渡って栄小学校に通うということは難しいと思いますので、国道1号線の北側3校の学区を再編成して、統廃合も含めて2校にして、学区を変えるということなのか。もしかしたら大宮小学校の一部を唐竹小学校に再編すれば解決できるのか。具体的にいつまでという期限はないのかもしれませんが、平成30年度ということであれば、そう遠い将来ではありません。平成30年度から余裕教室が無くなるということでしょうか。

学校教育課長 大宮小学校の学級数の推移は、平成28年度で12学級、29年度で13学級、30年度で14学級です。そのうち特別支援学級が2学級ということで想定しており、30年度が上限で余裕教室が無い状態になります。

委員 学区の再編成まで考えますと、本当に時間がかかると思います。具体的に動き始めないといけないと思いますが、皆さんはいかがですか。

委員 今の段階では、唐竹小学校と双峰小学校と大宮小学校の一部という学区割があり得るのかなと思います。いずれにしても、選択肢を事務局から出していただくのが良いと思いますが、他の委員さんはどう思いますか。

委員 いろいろなパターンでシミュレーションを作っただけだと検討しやすいと思います。ちなみに今回の資料の中で、開発の可能性があるとという螺貝地区はどこになりますか。

学校教育課長 資料第1号の中の「前後西」と書いてあるあたりが螺貝地区になります。

委員 現状で、唐竹小学校の近くで線引きしたときに児童数がどうなるのか、螺貝地区が開発されたときに児童数がどうなるのかというように、ここで線引きすると児童数が何人で何学級になるといういくつかのパターンで試算をして欲しいと思います。

委員 ある程度事務局案があっても良いとは思いますが、教育委員の皆さんの考えを伺いたいと思い、お聞きしました。

教育長 今までの話の中で、子どもたちにとってクラス替えができて、多くの人と関わることでできる環境を作ってあげることから、1学年2学級は最低限必要であるという共通認識でよろしかったですか。

委員 私は教育長と同様の意見で、1学年2学級は最低限必要であると思います。

委員 私もそう思います。理由としては、1学年1学級で人間関係が固定化したときの弊害というものが容易に考え得るので、適当な時期にクラス替えができて、人間関係が変わる方が良いと思うからです。

委員 1学級は可哀想だと思います。ただし、大宮小学校の場合は、1学年2学級になると余裕教室が無くなるという話もあるので難しいですね。

教育長 教室が足りないということもありますが、将来に備えていろいろな人と関わるためにも、クラス替えは全てできるということを基本理念として捉えても良いと思います。

委員 統廃合をするにあたっては、そのあたりは教育委員会としても意見を統一しておくべきであると思います。理由付けとして、2学級以上が理想であり、国の基準でも2学級を切るような場合は統廃合を検討しなさいとありますので、豊明市教育委員会としてクラス替えがあった方がよいという見解で良いと思います。以前の適正規模等検討委員会の際、当事者はそういうことを感じていなかったかもしれませんが、そこは違って構わないと思いますので、統一見解は必要だと思います。

教育部長 大変重要な問題でありますので、しっかり議論して決めていく必要があります。次回の総合教育会議の中でも議論していただきたいと思います。

委員長 唐竹小学校の保護者の方々も1学級が良いと思っているということはありません。ただ、合併されて学校が無くなるということに抵抗があるのだと思いますので、教育委員会の方針をしっかりと説明していけば理解していただけると思います。

委員 新聞報道等で統廃合について報道されていますが、これに対して市民から具体的に問い合わせはありましたか。

教育部長 先日、唐竹小学校の保護者の方から市長への手紙にてご意見をいただきました。市長と市民の意見交換会の中では統廃合に賛成する意見が多かったこともあり、市長がそのような発言をしている中で、子どもの立場で学校が無くなるのは精神的な負担を伴うことなので、保護者として納得できないという内容でした。それについては、経緯を丁寧にご説明していきたいと考えています。

委員 唐竹小学校が無くなるかどうかということは何も決まっていませんし、母校が無くなることで子どもたちが寂しい気持ちになるのは当然ですし、ご心配も分かりますが、子どもたちのために2学級あった方がよいのではないかという意見はご理解いただけるのではないのでしょうか。以前の適正規模等検討委員会の中では、1学年1学級の良いところも多くあげられていましたし、クラス替えができないことは問題ないという意見もありました。その中で、統廃合をする際に一番受け入れやすい方法は新しい学校を建設して統廃合する方がよいと思いますが、それはやはり難しいのでしょうか。

教育部長 市としては難しいと思います。

教育長 短期的、中期的にはないということですが、長期的には建物としての寿命を迎えますので、そのときには新しい学校の建設も検討することになると思います。また、保護者の方が不安になるのは当然ですので、そういう気持ちを緩和できるように考えていくことが大事であると思います。

教育部長 統廃合については、市議会の中でも一般質問がありました。9月定例会議の一般質問に関する詳細につきましては、次回の定例会教育委員会にてご報告させていただきますので、概略のみご説明させていただきます。早川議員から唐竹小学校と双峰小学校の統廃合についての一般質問があり、議員の基本的な考え方は、40年後に公共施設を30%削減すること、学校を減ら

すことは理解しているが、唐竹小学校と双峰小学校の統廃合については今ではなく、もっと先の話ではないかという趣旨であります。その中で1つ目として、現在どのような状況かという質問があり、これに対しては、総合教育会議で市長から唐竹小学校と双峰小学校の今後のあり方について、統合すべきか、その時期はいつがふさわしいのか、どのような形で統合するのが良いのか検討したいとの提案があり、それを受けて現在教育委員会においていろいろと検討しているところであるとお答えしました。2つ目として、唐竹小学校の学区には間米の土地改良地区や生産緑地など宅地開発の可能性があるため、時期尚早ではないかという質問があり、これに対しては、市の方針としてはそういった宅地開発の計画はなく、何十年先なのかも分からない状況を視野に入れながら統廃合を考えるのは現実的ではないとお答えしました。3つ目として、平成24年度に適正規模等検討委員会の中で様々な議論をして、当面は通学区域の見直しや統廃合は行わないとの結論が示されたにも関わらず、なぜまた議論するのかという質問があり、これに対しては、平成25年度からアセットマネジメントの計画を進めていること、27年1月に文部科学省が学校の規模について60年ぶりに見直しをして、小学校では6学級以下の学校について速やかに統廃合の適否を検討する必要があるという指針が示されたことなどから、平成24年度当時とは状況が変わってきたため検討を始めたとお答えしました。また、小規模と言われるが、唐竹小学校は唐竹小学校の良さがあり、豊明市全体で不登校児童生徒が増加している中で、唐竹小学校では不登校児童がいないので、そういったメリットを伸ばしていくべきではないかという発言があり、これに対しては、一概に小規模だから不登校児童生徒が少ないとは言えないとお答えしました。結果として、早川議員と市長との意見は平行線であったと思います。また詳細につきましては、次回の定例教育委員会にてご報告させていただきます。

委員 唐竹小学校は少人数だから不登校児童がいないというお話がありましたが、豊明中学校の中で唐竹小学校出身生徒の方が不登校になりにくいという傾向はあるのでしょうか。

指導室長 私が知るかぎり、現在豊明中学校の唐竹小学校出身生徒で不登校児童はいません。それだけ唐竹小学校は、先生と児童との関係性が濃密で、中学校に進級してもその思いは繋がるので、先生と児童との間に信頼関係があれば不登校にはならないということを信念として信じています。

教育長 ちなみに唐竹小学校の児童数は概ね200人で不登校児童0人、双峰小学校の児童数は概ね230人で不登校児童3人、沓掛小学校の児童数500人で不登校児童0人です。データから見ますと、必ずしも小規模だから不登校になりにくいとは言えないと思います。

委員 当然今すぐに決められる話ではありませんので、総合教育会議等でしっかりと継続的に審議していくべきであると思います。ただ、平成30年度までに決めないといけないということであれば、事務局でもある程度のタイムスケジュールを組みながら進めていただきたいと思います。

委員長 他にご質問等はございますか。(なし) それでは議案(1)「小学校の統廃合等について」は継続審議とします。続きまして報告に入ります。報告(1)「教育委員会の活動の点検及び評価の結果に関する報告書について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 (資料第2号に沿って説明を行う。)

委員長 ただいまのご説明について、ご質問等はございますか。

委員 評価委員の皆さんには、大変なご苦勞をおかけしていると思います。しっかりと評価していただいたことに対して感謝申し上げます。

委員 毎年概ね良い評価をいただいておりますが、昨年度ご指摘いただいた改善点については、

事務局でどのように把握して、改善していますか。

学校教育課長 昨年度ご指摘いただいた改善点についても視野に入れながら、事業を進めているつもりではありますが、評価委員にはまだまだご指摘いただくことも多くありますので、来年度の評価に生かせるようにしたいと思います。

委員 大変な労力をかけてご評価いただいていますので、教育委員会としても経年で見えていかないといけないと思います。前年度のご意見に対して、どのような対策をして、どう評価されたかというような比較があると分かりやすいと思います。

委員長 図書館について、新聞記事にありましたが、佐賀県で民間に委託した故に、全く貸し出しがない図書がたくさん出てしまったという問題があるそうですが、豊明市ではいかがですか。

図書館長 新聞にありました未貸出の図書が1630冊あったということよりも、図書を購入する際、中古本を購入していたということが大きな問題になったと思います。当市も1年間で全く借りられない図書は膨大にあるのが現状です。貸し出しだけを目的としているわけではなく、図書を保存するというのも目的としていますので、それは仕方がないと考えています。また、先ほど委員からご指摘がありましたことについて、図書館としては前年度は別の事業を評価していただいておりますので、評価シートには記載しておりませんが、前年度にご指摘いただいたことについては、きちんと把握して、対策をしております。

委員 資料の最後のページに「教育委員会の今後の対応と方向性」についての記載がありますが、私の思っていることと合致していて、大変良いと思います。

委員長 他にご質問等はございますか。(なし) 続きまして、報告(2)「教育委員会後援申請について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 (資料第3号に沿って説明を行う。)

委員長 ただいまのご説明についてご質問等はございますか。

委員 0歳児からのワンコインクラシックコンサートについて、このコンサートには無料で希望者は簡単に参加できるものでしょうか。

教育部長 申し訳ありませんが、事業の詳細については、資料等を持ち合わせておりませんので、次回ご報告させていただきます。

委員長 他にご質問等はございますか。(なし) 続きまして、その他(1)「平成27年度運動会・体育大会について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 (その他資料①に沿って説明を行う。)

委員長 ただいまのご説明についてご質問等はございますか。(なし) 続きまして、その他(2)「平成27年度豊明市教育委員会学校訪問について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 (その他資料②に沿って説明を行う。)

委員長 ただいまのご説明についてご質問等はございますか。(なし) 続きまして、その他(3)

「平成27年度豊明市の教育について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 （その他資料③に沿って説明を行う。）

委員長 ただいまのご説明についてご質問等はございますか。（なし）続きまして、次回の教育委員会の日程についてお願いします。

学校教育課長 （10月22日（木）午後2時30分から10月定例教育委員会、11月17日（火）午後3時30分から11月定例教育委員会を開催する旨提出。協議を行っていただく。）

委員長 では、10月定例教育委員会の日程については10月22日（木）午後2時30分から、11月定例教育委員会の日程については11月17日（火）午後3時30分からとします。それでは、その他に何かありますか。

教育部長 （総合教育会議の開催のご案内及び図書購入の補助金についての補足説明）

委員長 他にございますか。（なし）

委員長 閉会宣言 午後3時50分、10月定例教育委員会の閉会を宣言。